

〈宮城〉《学都》仙台発のアイデア商品「秀才文具パック」がリニューアルし、販売が再開された。秀才に近づくための勉強方法の応援グッズで、関係者の熱い思いが復活させた。今回は実効性を前面に出し、全国展開を目指すという。

文具パックは硬度Bの鉛筆(6本)、けい線のないリポーター用紙、鉛筆削り、「秀才への道三か条」付き下敷き、鉛筆の補助軸、シールの6品。三か条の第1条は「書いて書いて書いて覚える」。鉛筆は書けば書くほど身を削り、なくなっていくところに意味があるとして、短くなっても補助軸を使って書き切るようにした。

企業の技術相談などに応じる仙台市地域連携フェローで、東

# 秀才文具パック 全国展開へ

## 関係者の熱い思いで復活



秀才文具パックの復活を喜ぶ赤井沢正志さん—宮城県名取市 (本間篤撮影)

北大大学院工学研究科教授の堀切川一男さん(56)が考案した産学官連携開発商品。パソコンやスマートフォン時代に、原始的とも映る取り合わせだが、堀切川さんは「勉強は原点に戻るべきだ」と説明する。

平成19年10月にほぼ同じ品をらえて商品化し、仙台市内の文具店や駅のキヨスクで販売したが、局地的な仙台土産としての位置づけだったのに加え、商品の補充管理が不十分だったこともあり、ほとんど消えかかっ

ていた。販売を引き継いだ中田物産(名取市)の赤井沢正志社長(61)が「この商品を消してはならない」と再挑戦。デザインなどを一新するとともに流通面の開拓を進め、復活にこぎ着けた。

赤井沢さんは「これを使って大学院に入ったという学生もあり、勉強方法の普及は全国共通。効果も強調しながら広く普及させたい」と力を込める。

既に大手ネット通販にエントリー。文具店だけでなく書店やコンビニエンスストア、ドラッグストアなどでの販売も目指しており、6月ごろには一部の店頭に出る見通し。

秀才文具パックは1980円。問い合わせは、中田物産 022・3883・8370。